



2011年2月22日

BMW の新たなサブ・ブランド BMW i(ビー・エム・ダブリュー・アイ)を発足

- 持続可能な自動車とモビリティ・ソリューションを提供
- 新たなサブ・ブランドの第 1 弾として、BMW i3 および BMW i8 の 2 モデルを投入
- 中核事業を補完するモビリティ・サービス
- 「BMW i ベンチャーズ社」を設立

ミュンヘン発:

BMW では、持続可能なモビリティ・ソリューションの展開を専門に行うサブ・ブランド「BMW i」を発足させた。BMW AG 販売及びマーケティング担当取締役のイアン・ロバートソンは 21 日(月)、ミュンヘンで次のように述べた。「BMW i は、プレミアム・モビリティにおける新しい方向性を示すものです。この新しいサブ・ブランドの導入により、BMW グループは、最も革新的かつ最も持続可能なプレミアム自動車メーカーとしての優位性を改めて打ち立てます。BMW i の製品やサービスは、専用開発・生産によって持続可能なプレミアム・モビリティを実現するという革命的な手法を採用しています。自動車業界にインディビジュアル・モビリティの新たな時代を開く新たな時代の幕開けです。生まれながらにして電動化されたモビリティ・ソリューション、それが BMW i です。」

新サブ・ブランドは第 1 弾として、2013 年より BMW i3 および BMW i8 の 2 モデルの導入が予定されている。また、BMW グループ自体も今後数年の間にモビリティ・サービスを大きく拡大する計画で、その布石として総額 1 億ドルを投じ、米国ニューヨーク市にベンチャー投資会社「BMW i ベンチャーズ社」を設立した。

ロバートソンは、「BMW i は、持続可能性を重視しながら、未来志向の自動車や関連サービス、刺激的なデザイン、それに、斬新なコンセプトにもとづくプレミアム・モビリティをお届けします。」と語った。BMW i が提供する自動車やサービスは、2007 年以降、持続可能なモビリティ・ソリューションを模索する BMW グループのシンクタンク「プロジェクト i」の一環として開発されている。電気自動車やハイブリッドといった代替駆動方式への需要増大など、めまぐるしく変化する顧客ニーズに対応を目的として、BMW グループは新ブランドを発足させた。人口 800 万人以上の大都市圏「メガシティ」においては現在、さまざまなモビリティ・コンセプトのメリットを 1 つのパッケージの中に高次元で融合するソリューションを追求する動きが拡大している。

革新的な自動車コンセプト: BMW i3 および BMW i8

BMW i とは「BMW の実績や強みを踏襲して誕生したサブ・ブランド」とロバートソンは強調し

ている。これまで「メガシティ・ビークル」と銘打たれていた BMW i3 が、BMW グループの大都市圏向け量産車として初の 100 パーセント電気駆動モデルとなる。また、コンセプト・スタディの「BMW Vision EfficientDynamics(ビジョン・エフィシエントダイナミクス)」をベースとしたプラグインハイブリッド「BMW i8」は、高性能マシンのスポーツ性と小型車並みのすぐれた燃費効率を兼ね備える。

両モデルとも、「LifeDrive(ライフドライブ)」アーキテクチャーと呼ばれる革新的構造コンセプトを採用して、パワートレインを収めるシャシーはアルミニウム製となっている。また、パッセンジャー・セルには強度にすぐれ、しかもきわめて軽量の炭素繊維強化樹脂(CFRP)を使用する。これについて、BMW の開発担当取締役クラウス・ドレーガーは、「両モデルとも、各代替駆動システムに合わせた設計となっています。バッテリーによる重量増は、革新的なアーキテクチャーと CFRP を用いることでほぼ相殺されます。これにより、卓越した運動性能を備えながら、電動走行による航続距離を大きく拡大しています。」と話す。

BMW i8 はライブツィツヒで生産

BMW i8 も BMW i3 同様、生産拠点は BMW ライプツィツヒ工場となる。同工場は 2013 年までに約 4 億ユーロを投資して新しい設備を導入するほか、約 800 人の新たな雇用を創出する。また、両モデルが電気モーターとパワー・エレクトロニクス、高電圧リチウムイオン・バッテリーの部品を共有することで、開発と生産の相乗効果が得られる。

自動車とは独立した幅広いサービスを提供

BMW i ではさらに、幅広いモビリティ・サービスを提供していく。これらのサービスは自動車とは別に利用できる。こうして新しい収益力ある事業を長期的に創出・育成し、BMW グループ各ブランドへの新規顧客獲得を目指す。

これについて、ロバートソンは以下のように語っている。「急速に拡大する大都市圏では、モビリティ・ニーズに変化が見られます。BMW i では、BMW ConnectedDrive(コネクテッドドライブ)などの自動車によるモビリティ・サービスを大きく広げるとともに、自動車関連のプレミアム・モビリティ・サービスも発展させていきます。最も新しいのは、自動車とは独立したプレミアム・モビリティ・サービスの提供です。BMW i では、プレミアムな製品およびサービスの広範なネットワークを通じ、顧客ニーズにぴったりとカスタマイズしたモビリティ・ソリューションを提供することを目指しています。」

とりわけ重視しているのは、既存の駐車スペースの有効利用、地域情報、異なる交通機関の乗り換えを含めたルート提案機能を備えた高度なナビゲーション・システム、さらにはプレミアム・カーシェアリングといった方策である。

BMW グループでは、自社開発サービスに加え、提携先を模索しているほか、モビリティ・サービス業者への戦略的投資についても検討を進めている。例えば、ベンチャー投資会社として設立した「BMW i ベンチャーズ社」では、革新性に突出したサービス業者への出資を通して、BMW i が提供する製品およびサービスのラインアップを長期的に拡大していくことを目指している。

BMW i ベンチャーズではこの取り組みの第 1 弾として、ニューヨークを本拠とするマイシティウェイ社に初めて資本参加を行った。提携合意の際、ロバートソンは次のように述べた。「マイシティウェイ社との間で初めての戦略的提携を結んだことをお知らせできることは喜ばしいかぎりです。マイシティウェイはモバイル用アプリとして、米国内の 40 以上の都市を対象に公共交通機関や駐車スペースの空き状況、地域密着エンターテイメントに関する情報を提供していますが、今後は、グローバルな展開を図るべく、さらに 40 都市にサービスを導入する予定です。もちろんミュンヘンもその対象となっています。」

BMW グループについて

BMW グループは、BMW、MINI、ロールス・ロイスの 3 つのプレミアム・ブランドを擁する、自動車およびモーターサイクルのトップ・メーカーの一つであり、世界 13 カ国に 24 の製造工場を有し、140 カ国以上に販売網を構築しているグローバルな企業である。

2009 年度における自動車総販売台数は 129 万台、モーターサイクルは 8 万 7,000 台で、売上高は 506 億 8,000 万ユーロ(1 ユーロ 135 円換算で約 6 兆 8,418 億円)を計上した。また、2009 年 12 月末時点における従業員数は約 9 万 6,000 名である。

BMW グループは常に長期的な視野と責任ある行動を企業の指針とすることで成功をおさめており、その結果、すべてのバリュー・チェーンにおける環境的および社会的持続性、責任のある製品作り、さらには資源保護に対する明確なコミットメントを企業戦略の不可分な要素として確立している。このような努力が実を結び、BMW グループはダウ・ジョーンズ・サステイナビリティ・インデックスの自動車部門において、6 年連続でトップに選定されている。